

水環境学会中国四国支部ニュースレター

vol.5(2), 2003年6月, 6ページ

<http://www.jswe.or.jp/katu/shibu/chushi/index.html>

このニュースレターは支部の会員の皆様に支部の動向をお伝えすることを目的として不定期に発行します。

1. 平成 15 年度総会，三学会合同講演会等に関する報告

日 時：平成 15 年 5 月 16 日（金曜日）13 時 00 分～18 時 00 分

場 所：広島市・鯉城会館

1) 役員会および総会

時 間：13 時 00 分～15 時 20 分

議題

1. H14 年度会計
事務局案が承認された
2. H14 年度活動報告
事務局案が承認された
3. H15 年度予算
中四国支部研究活動助成金に 20 万円を計上した事務局案が承認された。なお H15 年度より支部，本部会計一体化が図られるために，一部科目が従来のもものと異なっている。
4. 中四国支部研究活動助成金制度について
支部活動の活性化に貢献することを基本とした制度であることと，地方環境研研究職員，若手研究者を対象とすること，用途を限定しないことなどを確認し，事務局案が承認された。
5. H15 年度支部役員
地方環境研所長会議での議論を受けて，今後，地方環境研究所所長などを役員とすることとを原則としないこととなった。これに伴い今年度中に支部内規を見直すこととなった。

2) 講演会

時 間：15 時 30 分～18 時 00 分

参加者：約 100 名

講演

- 「水・大気・廃棄物中のダイオキシン問題の現状と課題について」
- ・水系試料におけるダイオキシン類起源の推定 土屋充（(財)岡山県環境保全事業団）
 - ・環境大気中のダイオキシン類モニタリング-異性体分析と起源推定- 中野武（兵庫県立健康環境科学研究所）
 - ・廃棄物最終処分場におけるダイオキシンの挙動 野馬幸生（(独)国立環境研究所）
- パネルディスカッション

- ・コーディネータ：森忠繁（近畿福祉大学）
- ・パネラー：土屋充，野馬幸生，中野武

3) 三学会+地環研合同懇親会

時間：18時10分～20時00分

参加者：31名

2. 平成15年度役員

支部長	*細井由彦	鳥取大学工学部
副支部長	*大年邦雄	高知大学農学部
監事	河原長美	岡山大学環境理工
監事	*村上仁士	徳島大学大学院工学研究科
幹事長	上月康則	徳島大学大学院工学研究科
幹事	*西村文武	愛媛大学工学部
幹事	関根雅彦	山口大学大学院理工学研究科
幹事	田中克正	山口県環境保健研究センター
幹事	南條吉之	鳥取県衛生環境研究所
幹事	川上誠一	島根県出雲健康福祉センター
幹事	*倉田健悟	島根大学汽水域研究センター
幹事	野上祐作	岡山理科大学理学部
幹事	小野芳朗	岡山大学環境理工学部
幹事	*山本 淳	岡山県環境保健センター
幹事	山岡到保	経済産業省産業技術総合研究所
幹事	西嶋 涉	広島大学大学院工学研究科
幹事	今岡 務	広島工業大学環境学部
幹事	清木 徹	広島県保健環境センター
幹事	*常政典貴	広島市衛生研究所
幹事	土佐政二	徳島県保健環境センター
幹事	多田邦尚	香川大学農学部
幹事	笹田康子	香川県環境保健研究センター
幹事	福田行剛	愛媛県衛生環境研究所
幹事	西島敏隆	高知大学農学部
幹事	*藤原 拓	高知大学農学部
幹事	邑岡和昭	高知県環境研究センター
本部理事	岡田光正	広島大学工学部

*印は平成15年度改選

3. 中四国支部研究活動助成の募集要領

概要

1. 趣旨

水環境学会中四国支部の支部活動の一層の活性化を図るため、水環境に関する研究課題を公募形式により会員より広く募り、優秀な提案について研究費を助成する。

2. 交付申請者の資格

水環境学会中四国支部に属する、若手会員、あるいは地方衛生環境研究所やそれに類する機関の会員を対象とする。

3. 研究期間

補助金の交付を受けることのできる研究期間は、原則として翌年の4月30日までとする。

4. 補助規模

1提案あたり1年間で10万円までとし、年間2件程度。

5. 補助金の範囲

学会発表に要する費用、研究に要する器具、資料等の購入、調査旅費などの経費を計上することができる。

6. 審査方法

採択候補の課題の審査は、水環境学会中四国支部に設置する水環境学会中四国支部研究助成制度審査委員会（以下「委員会」という）において行われる。

7. 審査基準

研究の新規性、社会性などの研究内容の評価の他に、助成による支部活動の活性化への貢献度や会員の研究活動の向上への寄与度などの視点から総合的に審査する。

8. 研究結果および会計報告

当該研究期間中において、会計年度終了後、会計、活動および研究成果を支部へ報告すること。

9. 制度の見直し

各年度の総会にて本制度の見直しを行なうこととする。

応募方法

助成申請書： A4用紙2枚に必要事項が収まるように申請書を作成し、郵送して下さい。
申請書送付先：〒770-8506 徳島市常三島町 2-1 徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻 上月康則

締切：平成15年7月18日消印有効

採択結果：採択結果は8月中旬に申請者には直接、会員にはNewsLetterにて通知いた

します。

4．第 61 回理事会報告

1) 月日：6月4日

2) 主な議題

1．財政一元化について

本部担当者より詳しい説明がなされ本部案が承認された。なお財政一元化に関連して、学会予算に支部積立預金が創設された。この積立金は支部活動を支援するもので、本部に申請し、積み立て金の趣旨に沿っていけば、支出される。

2．学会賞の見直し

環境関連の長年の調査研究に対して、新しい学会賞を創設したいとの説明があった。本部案は年会での発表に基づいて審査を行い決定することのこと。

3．次期の理事

岡田光正氏（広島大学）、小野芳朗氏（岡山大学）、細井由彦氏（鳥取大学）、南條吉之氏（鳥取県衛生環境研究所）が承認された。

電子メール配信への変更，あるいはファックス番号などの変更がありましたら，kozuki@eco.tokushima-u.ac.jpまでご連絡願います。

- 1．各地で開催される水環境に関わるシンポジウムや会議の開催を援助します。ご連絡下さい
- 2．ニュースレターへの投稿や呼びかけ等の原稿をお待ちしています。
- 3．ニュースレターに関する問合せ等は下記迄お願いいたします。

担当：上月康則

徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻 〒770-8506 徳島市常三島町 2-1
TEL.&FAX. 088-656-7335 kozuki@eco.tokushima-u.ac.jp

平成 年 月 日

水環境学会中四国支部研究活動助成申請書

財団法人 水環境学会
支部長 細井由彦 殿

(フリガナ)
氏 名 印
生年月日 (才)

申請者

職業(所属・職名)

勤務先住所 〒

電話, E-mail

採択結果などの送付先が勤務先でない場合は下記に住所等を記入下さい

研究活動課題名

共同研究者がある場合には、下欄に記入ください。

共同研究者氏名(フリガナ)	職業・職名	勤務先住所・電話

1．研究活動計画の概要
(研究活動の目的，計画，助成の必要性)

2．研究活動経費(旅費，消耗品費，備品費，図書資料費，謝金など)

(1) 助成希望金額(最大 100,000 円)

(2) 使途内訳(他の研究活動資金と併せて使用する場合にはその旨を記入のこと)

3．研究者の略歴